

設計数量管理機能用 XML 変換ツール vX.1.1 取扱説明書

1. はじめに

- 設計数量管理機能用 XML 変換ツール vX.1.1（以下、「変換ツール」）は、令和 6 年度に公開していた IFC・XML 変換ツール v1.1.1 を更新し、設計数量管理機能 ver1.0 に対応したものです。
- 現在、試行中のため、2026 年 2 月 28 日までの使用期間を設定しています。2026 年 3 月 1 日以降は起動できません。
- 変換ツールは、工事工種体系ツリーコード、数量、規格などの属性情報を持つ IFC 形式（以下、「変換対象ファイル形式」）のファイルを、「設計数量管理機能」で読み込む XML 形式のファイルに変換するツールです。
- 本取扱説明書では、変換ツールの使用方法について説明します。

2. 動作環境

- 変換ツールは、以下の環境で動作確認を行っています。なお、以下は最低動作環境ではありません。

OS	Windows 11（64bit）
メモリ	32 GB
CPU	1.8 GHz
ストレージ空容量	140 GB

3. ファイル構成

- 変換ツールは、実行ファイル「変換ツール.exe」とフォルダ「data」で構成されています。

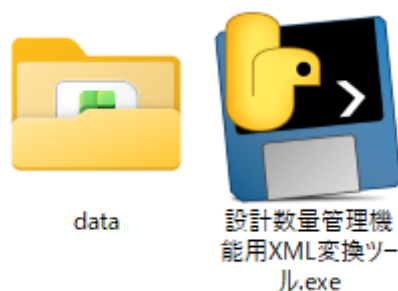


図 3-1 変換ツールの構成

4. 初期設定

- 変換ツールのインストールは不要です。
- 「変換ツール.exe」と同じフォルダに「data」フォルダを配置してください。「data」フォルダには、工事工種体系ツリーコードデータの Excel ファイルを保存してください。

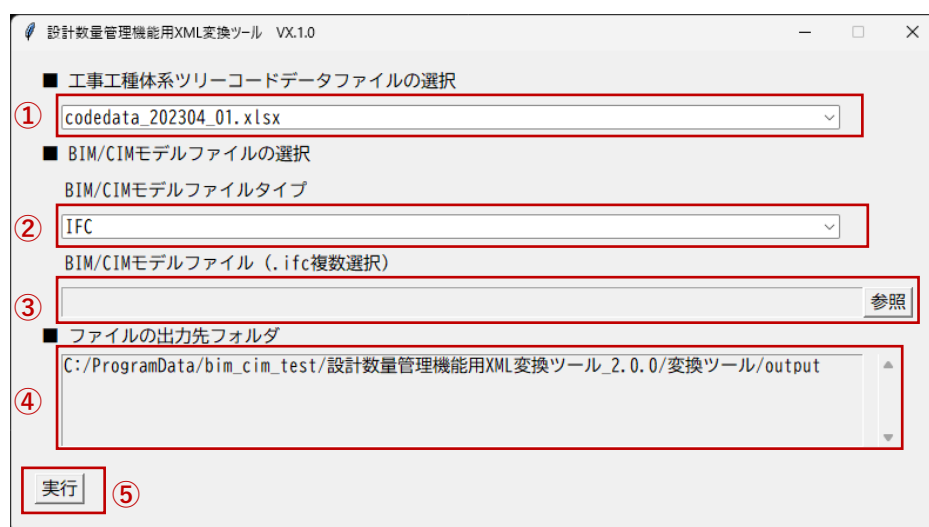
5. 起動

- 「変換ツール.exe」をダブルクリックして起動してください。

6. 使い方

6.1 メイン画面

- 「変換ツール.exe」をダブルクリックすると、次のウィンドウが表示されます。



- 工事工種体系ツリーコードファイル (.xlsx) は、実行ファイルと同じ階層にあるフォルダ「data」に保存されている工事工種体系ツリーコードデータの Excel ファイルが自動的に表示されます。「data」フォルダ内に Excel ファイルが複数ある場合は、右側の矢印ボタンで選択できます。Excel ファイルのファイル名が「codedata_YYYYMM_NN.xlsx」であることを確認してください。YYYY は数字 4 桁の西暦、MM は数字 2 桁の月、NN は数字 2 桁の番号を表します。
- BIM/CIM モデルファイルタイプでは、変換対象のファイル形式を選択します。変換ツ

ールの現在のバージョンは、「IFC」のみ選択できます。

- BIM/CIM モデルファイルは、BIM/CIM モデルファイルタイプで選択したファイル形式のファイルを指定します。「BIM/CIM モデルファイル (.ifc、複数選択可)」で、BIM/CIM 積算の数量データが設定されている IFC ファイルを選択します。IFC ファイルは複数選択でき、その場合は数量を集計して設計数量管理機能用ファイルを生成します。
- ファイルの出力先フォルダは、「6.3 出力ファイル」に記載の設計数量管理機能用ファイル、データ確認用ファイル、およびログファイルの出力先フォルダです。出力先フォルダは、「変換ツール.exe」ファイルまでのフォルダパス配下の「output」フォルダに固定されています。
- IFC ファイルのデータ確認用ファイルでは、Sheet1 に属性情報の一覧を表示し、IFC のオブジェクトごとに数量データに関する属性情報を表示します。Sheet2 には数量の集計を表示し、構造物名および規格ごとに数量を集計します。なお、データ確認用ファイルは構造物名ごとに数量を表示しますが、設計数量管理機能用ファイルでは構造物名を考慮せずに数量を集計するため、両者の数量は一致しません。

6.2 操作手順

1. 工事工種体系ツリーコードデータファイルの選択（メイン画面の①）

- フォルダ「data」内に保存されている工事工種体系ツリーコードの Excel ファイルを選択します。

2. BIM/CIM モデルファイルタイプの選択（メイン画面の②）

- 変換対象のファイル形式を選択します。

3. BIM/CIM モデルファイルの選択（メイン画面の③）

- 「参照」ボタンを押し、XML 形式に変換する IFC ファイルを選択してください。
- IFC ファイルは複数選択できます。複数選択した場合、数量は合算されます。

4. 変換の実行（メイン画面の⑤）

- 「1.」から「3.」までの設定が完了したら、「実行」ボタンを押してください。
- 変換が成功すると、次のウィンドウが表示されます。



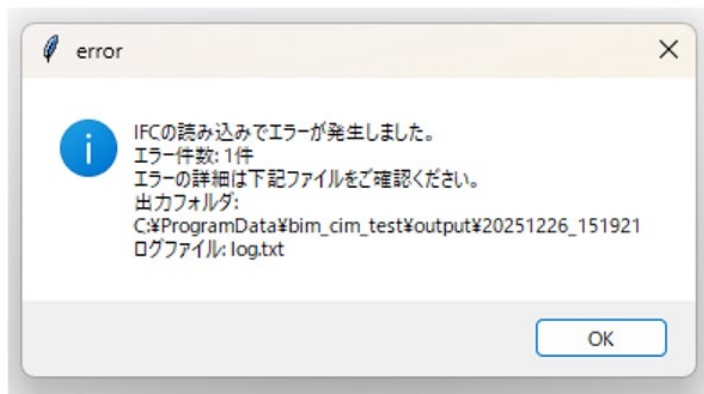
- 変換が成功すると、設計数量管理機能用ファイル、データ確認用ファイル、およびログファイルが、「変換ツール.exe」ファイルまでのフォルダパス配下の「output/日付_時刻」フォルダに出力されます。

6.3 出力ファイル

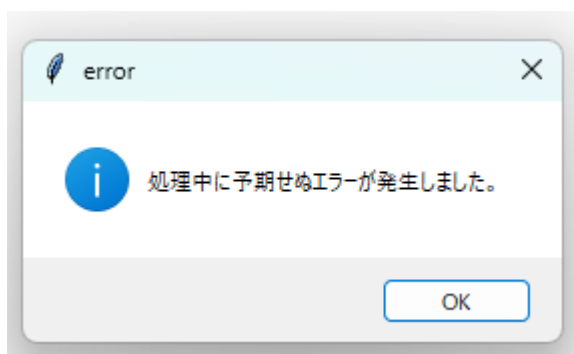
- 設計数量管理機能用ファイル
 - 設計数量管理機能用ファイルは、XML 形式のファイルです。
- データ確認用ファイル
 - Sheet1 は、IFC ファイルに含まれるオブジェクトおよび BIM/CIM 積算に関連する属性情報の一覧です。
 - Sheet2 は、構造物ごとに工事工種体系ツリーコードおよび規格で集計した数量の一覧です。
- ログファイル
 - 変換に関する処理情報および、エラー発生時のエラー内容を記録したファイルです。

7. エラーが発生した場合

- 変換ツールに対応していないファイルを読み込んだ場合、以下のいずれかのメッセージが表示されます。



- 「変換ツール.exe」ファイルまでのフォルダパス配下の「output/log.txt」にログファイルが生成されます。
- データ確認用ファイルにおいて、行単位でエラーが発生した場合は、エラーコード列にエラーコードが出力されます。
- ログファイルおよびデータ確認用ファイルの内容を確認し、該当するファイルを修正してください。
- 以下のメッセージが表示された場合、変換処理の過程でエラーが発生しています。お手数ですが、BIM/CIM モデルファイルおよび出力ファイル一式を、サポート情報に記載のメールアドレスまで送付してください。



8. サポート情報

メールサポート: openbim-help@building-smart.or.jp

以上

9. 附属資料

9.1 附属資料 A：積算用属性情報と工事工種体系ツリーコードデータの対応

積算用属性情報と工事工種体系ツリーコードデータの年度ごとの対応は、下表のとおりです。

	積算用属性情報	工事工種体系ツリーコードデータ
令和 5 年度用	properties_202304_01.xlsx	codedata_202304_01.xlsx
令和 6 年度用	properties_202501_01.xlsx	codedata_202501_01.xlsx
令和 7 年度用	properties_202510_01.xlsx	codedata_202510_01.xlsx

積算用属性情報による属性情報の設定は、ソフトウェアにおける IFC ファイル出力への対応状況に応じて、BIM/CIM 積算 MVD v0.3 および BIM/CIM 積算 MVD v1.3 の 2 とおりがあります。変換ツールはいずれの MVD にも対応しています。

BIM/CIM 積算 MVD v0.3 への対応を確認しているソフトウェアは、以下のとおりです。

- ・ Autodesk Revit
- ・ Autodesk Civil3D
- ・ 川田テクノシステム V-nasClair
- ・ 建設システム SiTE-STRUCTURE
- ・ トリンブル SketchUp
- ・ 福井コンピュータ TREND-CORE

BIM/CIM 積算 MVD v1.3 に対応しているソフトウェアについては、buildingSMART Japan IFC 検定ホームページ¹に掲載されている認証ソフトウェア一覧を参照してください。

¹ <https://www.building-smart.or.jp/ifcc/index.html>

9.2 附属資料 B：エラー一覧

番号	エラーメッセージ	詳細情報
EB1000-1	<p>実行ファイルの保存フォルダのパスが長すぎます。</p> <p>実行ファイルを、パスの長さが 225 文字以下となるフォルダ（例：C:\work¥app など）へ移動してください。</p>	<p>パス長が 226 文字以上となるフォルダ内に、実行ファイル（exe ファイル）が配置されています。</p> <p>本処理では、実行ファイルの配置先フォルダのパス長が 225 文字以下であることを前提としています。パス長がこの制限を超える場合、実行時にファイルパスを正しく解釈できず、実行ファイルの起動や、関連ファイルの読み込み処理が正常に行えない可能性があります。</p> <p>対応策として、実行ファイル（exe ファイル）を、フォルダパス全体の文字数が 225 文字以下となる場所に移動してください。</p> <p>必要に応じて、ディレクトリ階層を浅くする、フォルダ名を短縮するなどの対応を行ってください。</p>
EB2000-1	<p>変換ツールで使用する工事工種体系ツリーコードデータファイルの読み込みに使用するフォルダ「data」が見つかりません。</p> <p>下記の場所に「data」フォルダを作成したので、工事工種体系ツリーコードデータファイルを入れてください。</p> <p>フォルダの場所： {フォルダパス}</p>	<p>指定されたフォルダパス配下に、フォルダ「data」が存在しません。</p> <p>本処理では、工事工種体系ツリーコードデータ (codedata_YYYYMM_NN.xlsx) をフォルダ「data」から読み込むことを前提としているため、フォルダ「data」が存在しない場合、体系・設問・回答の参照データを取得できず、検証および XML 変換処理を開始できません。</p> <p>本処理でフォルダ「data」を作成しました。次に、工事工種体系ツリーコードデータのエクセルファイルをフォルダ「data」に配置してください。</p>
EB2001-1	<p>変換ツールで使用する工事工種体系ツリーコードデータファイルが「data」フォルダに見つかりません。</p> <p>「data」フォルダに、工事工種体系ツリーコードデータファイルを入れてください。</p>	<p>フォルダ「data」内に、工事工種体系ツリーコードデータのエクセルファイルが存在しません。</p> <p>本処理では、フォルダ「data」に配置された工事工種体系ツリーコードデータ（ファイル名が codedata_YYYYMM_NN.xlsx の形式のエクセルファイル）を参照し、体系管理番号、体系名称、設問、回答の定義を読込んだうえで、IFC 内の数量データと対応付けて検証および XML 変換を行うことを前提としています。</p>

		<p>当該フォルダ内に工事工種体系ツリーコードデータが存在しない場合、参照データを取得できず、処理を継続することができません。</p> <p>対応策として、フォルダ「data」に、使用する工事工種体系ツリーコードデータのエクセルファイルを配置してください。</p> <p>配置するファイルは、IFC 内の数量データで参照している体系（YYYYMM_NN）と一致している必要があります。</p>
EB2002-1	<p>変換ツールで使用する工事工種体系ツリーコードデータファイルが「data」フォルダに見つかりません。</p> <p>「data」フォルダに、工事工種体系ツリーコードデータファイルを入れてください。</p>	<p>フォルダ「data」内に、工事工種体系ツリーコードデータのエクセルファイルが存在しません。</p> <p>本処理では、フォルダ「data」に配置された工事工種体系ツリーコードデータ（ファイル名が codedata_YYYYMM_NN.xlsx の形式のエクセルファイル）を参照し、体系管理番号、体系名称、設問、回答の定義を読込んだうえで、IFC 内の数量データと対応付けて検証および XML 変換を行うことを前提としています。</p> <p>当該フォルダ内に工事工種体系ツリーコードデータが存在しない場合、参照データを取得できず、処理を継続することができません。</p> <p>対応策として、フォルダ「data」に、使用する工事工種体系ツリーコードデータのエクセルファイルを配置してください。</p> <p>配置するファイルは、IFC 内の数量データで参照している体系（YYYYMM_NN）と一致している必要があります。</p>
EC2000-1	<p>工事工種体系ツリーコードデータファイルが「data」フォルダに見つかりません。</p> <p>「data」フォルダに、工事工種体系ツリーコードデータファイルを入れてください。</p>	<p>指定されたフォルダ「data」内に、工事工種体系ツリーコードデータのエクセルファイルが存在しません。</p> <p>本処理では、フォルダ「data」に配置された工事工種体系ツリーコードデータ（ファイル名が codedata_YYYYMM_NN.xlsx の形式のエクセルファイル）を参照し、体系コード、設問、回答の整合性を検証することを前提としています。</p> <p>当該フォルダ内に工事工種体系ツリーコードデータのエクセルファイルが存在しない場合、数量データをどの工事</p>

		<p>工種体系に基づいて解釈すべきかを特定できず、検証処理を継続することができません。</p> <p>対応策として、フォルダ「data」内に、使用する工事工種体系ツリーコードデータのエクセルファイルを配置してください。</p> <p>配置するファイルは、BIM/CIM モデルファイル内の数量データで参照している体系（YYYYMM_NN）と一致している必要があります。</p>
EC3000-1	<p>工事工種体系ツリーコードデータファイルに、変換ツールで読み取れない項目名があります。</p> <p>工事工種体系ツリーコードデータファイルを確認し、正しい項目で作成したうえで、変換ツールを再実行してください。</p>	<p>工事工種体系ツリーコードデータ（codedata_YYYYMM_NN.xlsx）の列名が、設計数量管理機能用 XML 変換ツールが想定する列名と一致していません。</p> <p>本処理では、工事工種体系ツリーコードデータにおいて、所定の列名が定義されていることを前提としてデータを読み込み、IFC 内の数量データと対応付けて検証を行います。想定される列名は次のとおりです。</p> <p>L0 体系管理番号、L0 体系名称、L1 体系管理番号、L1 体系名称、L2 体系管理番号、L2 体系名称、L3 体系管理番号、L3 体系名称、L4 体系管理番号、L4 体系名称、積算用単位、総括表用単位、属性、区分、設問、設問番号、設問名称、回答、回答番号、回答名称、回答単位、連続体系管理番号、連続体系名称。</p> <p>これらの列名が欠落している、名称が異なる、または編集により変更されている場合、体系管理番号、体系名称、設問、回答を正しく取得できず、ツリーコードデータを正しく解釈することができません。そのため、整合性検証および XML 変換処理を継続することができません。</p> <p>対応策として、使用している工事工種体系ツリーコードデータの列名が、上記の想定列名と完全に一致していることを確認してください。列名が変更されたファイルや、別システムのテンプレートを使用したファイルが含まれていないかを確認したうえで、正しいフォーマットの工事工種体系ツリーコードデータに差し替え、設計数量管理機能用 XML 変換ツールを再実行してください。</p>

EC3001-1	<p>工事工種体系ツリーコードデータファイルにデータがありません。</p> <p>工事工種体系ツリーコードデータファイルを確認し、データが入力されていることを確認したうえで、変換ツールを再実行してください。</p>	<p>工事工種体系ツリーコードデータ (codedata_YYYYMM_NN.xlsx) に、有効なデータ行が存在しません。</p> <p>本処理では、工事工種体系ツリーコードデータに記載された体系管理番号、体系名称、設問、回答などの行データを参照し、IFC 内の数量データと対応付けて検証および XML 変換を行うことを前提としています。</p> <p>データ行が 0 件の場合、参照すべき体系・設問・回答の定義が存在しないため、数量データの解釈および整合性検証を実行することができません。</p> <p>対応策として、工事工種体系ツリーコードデータにデータ行が入力されていることを確認してください。</p> <p>フィルタ設定により行が非表示になっていないか、ヘッダー行のみの状態になっていないか、読み込み対象シートが誤っていないかを確認したうえで、工事工種体系ツリーコードデータを修正し、設計数量管理機能用 XML 変換ツールを再実行してください。</p>
ED1000-1	<p>IFC ファイルが選択されていません。</p> <p>ファイル選択画面で、IFC ファイルを選択してください。</p>	<p>BIM/CIM モデルファイルの入力値が空文字となっており、参照するファイルパスが指定されていません。</p> <p>本処理では、IFC ファイルを入力として受け取り、内容の検証および解析を行うことを前提としています。</p> <p>入力値が空文字の場合、対象となる BIM/CIM モデルファイルを特定できず、IFC ファイルの読み込み処理を開始することができません。</p> <p>対応策として、BIM/CIM モデルファイルの入力項目に対し、解析対象とする IFC ファイルのファイルパスが指定されていることを確認してください。</p> <p>ファイル未選択のまま処理を実行していないか、入力 UI または呼び出し元のパラメータ設定を確認してください。</p>
ED1001-1	<p>IFC ファイルの保存フォルダのパスが長すぎます。</p> <p>IFC ファイルを、パスの長さが 260 文字以下となるフォルダへ移動し、あらためて IFC ファイルを選択してください。</p>	<p>BIM/CIM モデルファイルの入力値に、パス長が 261 文字以上となるファイルパスが指定されています。</p> <p>本処理では、ファイルパス長が 260 文字以下であることを前提としており、この制限を超えるパスが指定された場</p>

		<p>合、IFC ファイルの読み込み処理を正しく実行することができません。 この制約は、ファイル入出力処理または実行環境のパス長制限に起因するものです。</p> <p>対応策として、BIM/CIM モデルファイルの配置場所およびファイル名を見直し、ファイルパス全体の文字数が 260 文字以下となるよう調整してください。</p> <p>必要に応じて、ディレクトリ階層を浅くする、ファイル名を短縮するなどの対応を行ってください。</p>
ED1001-2	<p>BIM/CIM モデルファイルの形式が IFC ではありません。</p> <p>拡張子が「.ifc」の IFC ファイルを選択してください。</p>	<p>BIM/CIM モデルファイルとして指定されたファイルの拡張子が.ifc ではありません。</p> <p>本処理は、IFC 形式の BIM/CIM モデルファイルを入力とすることを前提としており、拡張子が.ifc 以外のファイルは解析対象として扱うことができません。</p> <p>この状態では、IFC 構文の読み込みおよびモデル検証を開始することができません。</p> <p>対応策として、BIM/CIM モデルファイルの入力において、拡張子が.ifc の IFC ファイルが選択されていることを確認してください。</p> <p>誤って他形式のファイルを指定していないか、入力対象を見直してください。</p>
ED2000-1	<p>IFC ファイルが見つかりません。</p> <p>ファイル選択画面で、パソコンに保存されている IFC ファイルを選択してください。</p>	<p>指定された BIM/CIM モデルファイルのファイルパスに対応するファイルが存在しません。</p> <p>本処理では、入力として指定されたファイルパス上に IFC 形式の BIM/CIM モデルファイルが存在することを前提としています。</p> <p>指定されたパスにファイルが存在しない場合、IFC ファイルの読み込み処理を開始することができません。</p> <p>対応策として、BIM/CIM モデルファイルの入力値に指定されているファイルパスが正しいこと、および当該パス上にファイルが存在することを確認してください。</p> <p>ファイルの移動、削除、またはネットワークドライブの未接続などにより参</p>

		照不能となっていないかを確認してください。
ED3000-1	<p>IFC ファイルに、FILE_SCHEMA の情報が設定されていません。</p> <p>IFC ファイルを作成したソフトウェアの設定を確認し、FILE_SCHEMA が出力される状態で、ファイルを作り直してください。</p>	<p>IFC ファイルのヘッダーセクションにおいて、FILE_SCHEMA が記述されていません。</p> <p>本処理は、IFC2X3、IFC4、または IFC4X3_ADD2 のいずれかの IFC スキーマに準拠した IFC ファイルであることを前提としています。</p> <p>FILE_SCHEMA は、当該 IFC ファイルがどのスキーマに基づいて記述されているかを示す必須情報であり、これが欠落している場合、前提とする IFC バージョンを判定できません。そのため、エンティティ定義および属性構造を正しく解釈できず、以降の検証処理を行うことができません。</p> <p>対応策として、出力された IFC ファイルが、上記いずれかの IFC スキーマに準拠していることを確認したうえで、FILE_SCHEMA が正しく出力されているかを確認してください。</p> <p>FILE_SCHEMA の欠落は、IFC 出力処理またはエクスポート設定に起因する可能性があります。</p>
ED3000-2	<p>IFC ファイルは、変換ツールが対応していない IFC バージョンで作成されています。</p> <p>IFC ファイルを作成したソフトウェアの設定を確認し、IFC2X3、IFC4、または IFC4X3_ADD2 のいずれかのバージョンで、ファイルを作り直してください。</p>	<p>IFC ファイルのヘッダーセクションに記述されている FILE_SCHEMA が、本処理の前提とする IFC スキーマと一致していません。</p> <p>本処理は、IFC2X3、IFC4、または IFC4X3_ADD2 のいずれかに準拠した IFC ファイルであることを前提としています。</p> <p>FILE_SCHEMA にこれら以外の値が記述されている場合、想定していないエンティティ定義や属性構造が含まれる可能性があり、積算 MVD に基づく検証および解釈を正しく行うことができません。</p> <p>対応策として、出力された IFC ファイルが IFC2X3、IFC4、または IFC4X3_ADD2 のいずれかのスキーマに基づいて生成されているかを確認し、その前提と整合する FILE_SCHEMA がヘッダーに出力されていることを確認してください。</p>

		<p>想定外の FILE_SCHEMA が記述されている場合は、IFC 出力時のスキーマ指定またはエクスポート設定を見直してください。</p>
ED3001-1	<p>IFC ファイルに、IfcProject が正しく設定されていません。</p> <p>IFC ファイルを作成したソフトウェアの設定を確認し、IfcProject が正しく出力される状態で、ファイルを作り直してください。</p>	<p>IFC モデル内に定義されている IfcProject が存在しない、または複数定義されています。</p> <p>IFC 仕様では、IfcProject はモデル全体の最上位コンテナとして位置付けられ、1 つの IFC ファイルにつき必ず 1 個、かつ一意に定義されることが前提となっています。</p> <p>IfcProject が 0 個の場合、モデル全体のコンテキスト（単位系、表現コンテキスト、空間構造の起点）を確立できません。</p> <p>一方、2 個以上定義されている場合、空間構造やプロジェクト属性の帰属先が曖昧になり、モデルを一意に解釈することができません。</p> <p>対応策として、IFC ファイル内の IfcProject 定義を確認し、IfcProject が 1 個のみ存在する状態になっていることを確認してください。</p> <p>複数定義されている場合は、不要な IfcProject を削除し、単一の IfcProject を起点として空間構造および関連エンティティが構成されるようモデルを整理してください。</p>
ED3100-1	<p>IFC ファイルに、数量データの属性セットが設定されていません。</p> <p>IFC ファイルを作成したソフトウェアの設定を確認し、数量データの属性セットが出力される状態で、ファイルを作り直してください。</p>	<p>IFC ファイル内に、数量データ用の IfcPropertySet が設定されていません。</p> <p>積算 MVD では、数量データ用の IfcPropertySet が設定されていることを前提としています。</p> <p>数量データ用の IfcPropertySet が存在しない場合、XML 変換および積算処理の対象として扱うことができません。</p> <p>対応策として、積算 MVD で定義された命名規則に従う数量データ用の IfcPropertySet を設定してください。</p> <p>属性セットには、体系コードの属性および数量の属性を必ず含め、規格の属性は工事工種体系ツリーコードデータに従って必要に応じて設定してください。</p>
ED3100-2	IFC ファイルに、異なるバージョンの数量データが混在しています。	<p>同一の IFC ファイル内において、異なる積算 MVD バージョンに基づく数量</p>

	<p>IFC ファイルを作成したソフトウェアの設定を確認し、BIM/CIM 積算 MVD のバージョンを V0.3 または V1.3 のいずれかにそろえて、ファイルを作り直してください。</p>	<p>データ用 IfcPropertySet が混在しています。</p> <p>積算 MVD では、数量データ用 IfcPropertySet の構造および解釈は、適用する MVD バージョンに依存します。</p> <p>MVDv0.3 に基づく数量データ（属性セット名が「数量情報_YYYYYMM_NN_連続体系名称」と、MVDv1.3 に基づく数量データ（属性セット名が「工事工種体系_YYYYYMM_NN_連続体系名称」）が同一 IFC ファイル内に混在している場合、数量データの解釈基準を一意に定めることができず、IFC-XML 変換および積算処理を正しく行うことができません。</p> <p>対応策として、IFC ファイル全体で使用する積算 MVD のバージョンを確認し、数量データを MVDv0.3 または MVDv1.3 のいずれか一方に統一してください。</p> <p>混在している場合は、属性セット名および属性構成を対象とする MVD バージョンに合わせて整理し直してください。</p>
ED3101-1	<p>IFC ファイルの 1 つのオブジェクトに対して、数量データの属性セットが複数含まれています。</p> <p>IFC ファイルを作成したソフトウェアの設定を確認し、各オブジェクトに数量データの属性セットが 1 つだけ含まれる状態で、ファイルを作り直してください。</p>	<p>同一の IfcElement に対して、数量データを表す IfcPropertySet が複数設定されています。</p> <p>積算 MVD では、数量データ（体系コード、数量、規格属性を含む IfcPropertySet）は、1 つの IfcElement に対して 1 セットのみ設定することを前提としています。</p> <p>本エラーは、同一の IfcElement に対して、以下のいずれかの数量データ用 IfcPropertySet が複数設定されている場合に発生します。</p> <p>MVDv0.3 に基づき、「数量情報_YYYYYMM_NN_連続体系名称」を Name に持つ IfcPropertySet。</p> <p>MVDv1.3 に基づき、「工事工種体系_YYYYYMM_NN_連続体系名称」を Name に持つ IfcPropertySet。</p> <p>これらはいずれも IfcElement に設定される数量データ用の属性セットとして扱われます。</p> <p>この状態では、同一 IfcElement に対して複数の数量定義が存在することになり、数量データと工事工種体系ツリー</p>

		<p>コードデータとの対応関係を一意に解釈できません。その結果、IFC-XML 変換や積算処理において数量の重複、または誤った集計が発生します。</p> <p>対応策として、対象の IfcElement に設定されている数量データ用 IfcPropertySet を確認し、MVD の命名規則に該当する属性セットが 1 つのみとなるよう整理してください。異なる体系コードや数量を表現する必要がある場合は、IfcElement を分割し、それぞれの要素に対して数量データ用 IfcPropertySet を 1 対 1 で設定してください。</p>
ED3102-1	<p>IFC ファイルの数量データの属性セットで使用されている適用年月が、工事工種体系ツリーコードデータファイルの適用年月と一致していません。</p> <p>IFC ファイルを作成したソフトウェアの設定と、使用している工事工種体系ツリーコードデータファイルを確認し、適用年月が一致する組み合わせで、ファイルを作り直してください。</p>	<p>数量データ用 IfcPropertySet の Name に含まれる適用年月および番号 (YYYYMM_NN) が、参照している工事工種体系ツリーコードデータ (codedata_YYYYMM_NN.xlsx) に定義された工事工種体系の適用年月および番号と一致していません。</p> <p>積算 MVD では、IfcPropertySet.Name に含まれる YYYYMM_NN は、数量データがどの工事工種体系ツリーコードデータに基づいて定義されているかを識別するための必須情報として扱われます。</p> <p>YYYYMM と NN の組が完全に一致していない場合、体系コード、設問、回答の対応関係を一意に特定することができず、数量データを正しく解釈することができません。</p> <p>対応策として、以下を確認してください。</p> <p>数量データ用 IfcPropertySet の Name に設定されている YYYYMM_NN が、使用している工事工種体系ツリーコードデータのエクセルファイル名 (codedata_YYYYMM_NN) に含まれる YYYYMM_NN と完全に一致していること。</p> <p>異なる工事工種体系ツリーコードデータを使用する場合は、それに対応する YYYYMM_NN を IfcPropertySet.Name に設定し直してください。</p>
ED3200-1	IFC ファイルの形状データが設定されていないオブジェクトに対して、数量データの属性セットが設定されていません。	<p>IfcElement 以外に、数量データ用の IfcPropertySet が設定されています。</p> <p>積算 MVD では、数量データ用の IfcPropertySet は、1 つの IfcElement</p>

	<p>IFC ファイルを作成したソフトウェアの設定を確認し、形状データが設定されているオブジェクトに数量データの属性セットが設定された状態で、ファイルを作り直してください。</p>	<p>のサブタイプに対して1セットのみ設定することを前提としています。</p> <p>本エラーは、IfcElement 以外に、数量データ用の IfcPropertySet が設定されている場合に発生します。</p> <p>対応策として、IfcElement 以外に数量データ用の IfcPropertySet を設定しないようにしてください。</p>
ED3201-1	<p>IFC ファイルの形状データが設定されていないオブジェクトに対して、数量データの属性セットが設定されています。</p> <p>IFC ファイルを作成したソフトウェアの設定を確認し、形状データが設定されているオブジェクトに数量データの属性セットが設定された状態で、ファイルを作り直してください。</p>	<p>形状データ (Representation) が設定されていない IfcElement に対して、数量データ用の IfcPropertySet が設定されています。</p> <p>積算 MVD では、数量データ用の IfcPropertySet は、形状データを持つ IfcElement に設定されていることを前提としています。</p> <p>対応策として、対象の IfcElement に対し、形状データ (Representation) を設定してください。</p>
ED3300-1	<p>IFC ファイルの数量データの属性セットに、工事工種体系ツリーコードを識別するための「体系コード」属性が設定されていません。</p> <p>IFC ファイルを作成したソフトウェアの設定を確認し、属性セットに「体系コード」属性が1つだけ含まれる状態で、ファイルを作り直してください。</p>	<p>数量データ用 IfcPropertySet において、体系コードを表す IfcPropertySingleValue が設定されていない、または複数設定されています。</p> <p>積算 MVD では、数量データ用の IfcPropertySet には、連続体系管理番号を示す体系コードの属性を必ず1個、かつ一意に設定することを前提としています。</p> <p>体系コードの属性が0個の場合、当該数量データがどの工事工種体系に属するかを特定できません。</p> <p>一方、2個以上設定されている場合、同一の IfcPropertySet 内で複数の連続体系管理番号が競合し、数量データの帰属先を一意に解釈できません。</p> <p>対応策として、対象の IfcPropertySet を確認し、体系コードを表す IfcPropertySingleValue が1個のみ設定されていることを確認してください。</p> <p>不要な体系コード属性が複数設定されている場合は削除し、設定されていない場合は、工事工種体系ツリーコードデータに基づく正しい連続体系管理番号を持つ体系コード属性を追加してください。</p>

ED3301-1	<p>IFC ファイルの「体系コード」属性に、工事工種体系ツリーコードを識別するための「体系管理番号」が設定されていません。</p> <p>IFC ファイルを作成したソフトウェアの設定を確認し、「体系管理番号」が出力される状態で、ファイルを作り直してください。</p>	<p>数量データ用 IfcPropertySet に設定されている体系コードの IfcPropertySingleValue において、属性値が\$として記述されており、体系管理番号が設定されていません。</p> <p>積算 MVD では、体系コードの属性値には、工事工種体系ツリーコードデータに定義された連続体系管理番号を設定することを前提としています。属性値が\$の場合、体系管理番号が未定義であると解釈されるため、当該数量データがどの工事工種体系（L0～L4）に基づくものかを特定することができません。</p> <p>対応策として、体系コードを表す IfcPropertySingleValue を確認し、属性値に工事工種体系ツリーコードデータに基づく正しい連続体系管理番号を設定してください。 体系管理番号は、L0 から L4 までの体系管理番号をアンダースコア（_）で連結した形式で記述されている必要があります。</p>
ED3301-2	<p>IFC ファイルの「体系コード」属性に、工事工種体系ツリーコードを識別するための「体系管理番号」が設定されていません。</p> <p>IFC ファイルを作成したソフトウェアの設定を確認し、「体系管理番号」が出力される状態で、ファイルを作り直してください。</p>	<p>数量データ用 IfcPropertySet に設定されている体系コードの IfcPropertySingleValue において、属性値として設定されている体系管理番号の形式が正しくありません。</p> <p>積算 MVD では、体系コードの属性値には、工事工種体系ツリーコードデータに定義された連続体系管理番号を設定することを前提としています。連続体系管理番号は、L0 から L4 までの各体系管理番号を上位から順にアンダースコア（_）で連結した識別子であり、結果としてアンダースコアが 4 個含まれる形式となります。</p> <p>本エラーは、体系コードの属性値に含まれるアンダースコアの数が 3 個以下、または 5 個以上となっており、L0～L4 の体系管理番号を正しく連結した形式になっていない場合に発生します。 この状態では、数量データがどの工事工種体系に属するかを正しく特定することができません。</p> <p>対応策として、体系コードを表す IfcPropertySingleValue を確認し、属性値が</p>

		<p>L0_L1_L2_L3_L4 の 5 階層の体系管理番号を正しい順序で連結した形式になっていることを確認してください。 設定する体系管理番号は、工事工種体系ツリーコードデータに定義された値と完全に一致している必要があります。</p>
ED3301-3	<p>IFC ファイルの「体系コード」属性に含まれる「体系管理番号」が、工事工種体系ツリーコードデータに見つかりません。</p> <p>IFC ファイルを作成したソフトウェアの設定と、使用している工事工種体系ツリーコードデータを確認し、一致する「体系管理番号」が使用される状態で、ファイルを作り直してください。</p>	<p>数量データ用 IfcPropertySet に設定されている体系コードの IfcPropertySingleValue において、属性値として設定されている体系管理番号が、参照している工事工種体系ツリーコードデータに存在しません。</p> <p>積算 MVD では、体系コードの属性値に設定する体系管理番号は、工事工種体系ツリーコードデータに定義された連続体系管理番号と一致していることを前提としています。 工事工種体系ツリーコードデータに存在しない体系管理番号が設定されている場合、数量データがどの工事工種体系（L0～L4）に基づくものかを特定できず、体系名称、設問、回答との対応関係を正しく構築することができません。</p> <p>対応策として、体系コードを表す IfcPropertySingleValue を確認し、その属性値が、使用している工事工種体系ツリーコードデータに定義された連続体系管理番号のいずれかと完全に一致していることを確認してください。 存在しない番号が設定されている場合は、工事工種体系ツリーコードデータに基づく正しい体系管理番号に修正してください。</p>
ED3400-1	<p>IFC ファイルの数量データの属性セットに、「数量」属性が設定されていません。</p> <p>IFC ファイルを作成したソフトウェアの設定を確認し、属性セットに「数量」属性が 1 つだけ含まれる状態で、ファイルを作り直してください。</p>	<p>数量データ用 IfcPropertySet において、数量を表す IfcPropertySingleValue が設定されていない、または複数設定されています。</p> <p>積算 MVD では、数量データ用の IfcPropertySet には、計測値を示す数量の属性を必ず 1 個、かつ一意に設定することを前提としています。 数量の属性が 0 個の場合、当該 IfcElement から数量を取得することができず、積算対象として扱うことができません。</p>

		<p>一方、2 個以上設定されている場合、同一 IfcPropertySet 内で複数の数量定義が競合し、どの値を積算に用いるべきかを一意に解釈できません。</p> <p>対応策として、対象の IfcPropertySet を確認し、数量を表す IfcPropertySingleValue が 1 個のみ設定されていることを確認してください。</p> <p>複数設定されている場合は不要な数量属性を削除し、設定されていない場合は、形状データに基づいて算出した正しい数量値を設定してください。</p>
ED3401-1	<p>IFC ファイルの「数量」属性に、正しい値（数量）が設定されていません。</p> <p>IFC ファイルを作成したソフトウェアの設定を確認し、「数量」属性に 0 以外の値が出力される状態で、ファイルを作り直してください。</p>	<p>数量データ用 IfcPropertySet に設定されている数量の IfcPropertySingleValue において、属性値が \$ として記述されており、数量値が設定されていません。</p> <p>積算 MVD では、数量の属性値には、形状データの計測結果、またはそれを用いた計算により得られた数量値を設定することを前提としています。属性値が \$ の場合、数量が未定義であると解釈されるため、当該 IfcElement を積算対象として扱うことができません。</p> <p>対応策として、数量を表す IfcPropertySingleValue を確認し、その属性値に 0 以外の数値を設定してください。</p> <p>設定する数量値は、整数・実数の別を問いませんが、単位や文字列は含めず、実際の計測結果と整合している必要があります。</p>
ED3401-2	<p>IFC ファイルの「数量」属性に、正しい値（数量）が設定されていません。</p> <p>IFC ファイルを作成したソフトウェアの設定を確認し、「数量」属性に 0 以外の値が出力される状態で、ファイルを作り直してください。</p>	<p>数量データ用 IfcPropertySet に設定されている数量の IfcPropertySingleValue において、属性値に数値以外の文字が含まれています。</p> <p>積算 MVD では、数量の属性値には、形状データの計測結果、またはそれを用いた計算により得られた数値のみを設定することを前提としています。</p> <p>数量の属性値に、単位（例：m、m²、m³、kg）、記号、補足説明などの文字列が付加されている場合、その値を数値として解釈することができず、積算処理および IFC-XML 変換を正しく行うことができません。</p>

		<p>例えば、 10.5m、3.2m²、100kg、25（概算） のような値は、いずれも数値以外の文字を含むため不正と判定されます。</p> <p>対応策として、数量を表す IfcPropertySingleValue を確認し、属性値から単位や補足的な文字列を除去したうえで、0 以外の数値のみを設定してください。 単位情報が必要な場合は、数量の属性値には含めず、別途モデル上の定義や運用ルールで管理してください。</p>
ED3401-3	<p>IFC ファイルの「数量」属性に、正しい値（数量）が設定されていません。</p> <p>IFC ファイルを作成したソフトウェアの設定を確認し、「数量」属性に 0 以外の値が出力される状態で、ファイルを作り直してください。</p>	<p>数量データ用 IfcPropertySet に設定されている数量の IfcPropertySingleValue において、属性値が 0 に設定されています。</p> <p>積算 MVD では、数量の属性値には、形状データの計測結果、またはそれを用いた計算により得られた 0 以外の数値を設定することを前提としています。 数量が 0 の場合、当該 IfcElement は数量を持たないものとして解釈され、積算対象として扱うことができません。 なお、負の数値については、数量の控除や減算を表現する用途を想定しており、仕様上は許容されています。本エラーは、数量が 0 に設定されている場合にのみ該当します。</p> <p>対応策として、数量を表す IfcPropertySingleValue を確認し、形状データの計測結果に基づく 0 以外の数値が設定されていることを確認してください。 数量が控除を意味する場合であっても、0 ではなく、意図した符号を持つ数値が設定されている必要があります。</p>
ED3500-1	<p>IFC ファイルの規格に関する属性に、「設問名称」が設定されていません。</p> <p>IFC ファイルを作成したソフトウェアの設定を確認し、「設問名称」が出力される状態で、ファイルを作り直してください。</p>	<p>数量データ用 IfcPropertySet に設定されている規格属性 (IfcPropertySingleValue) において、属性名 (Name) が \$ として記述されており、設問名称が設定されていません。</p> <p>積算 MVD では、規格属性の属性名には、工事工種体系ツリーコードデータに定義された設問名称を設定し、当該</p>

		<p>規格値がどの設問に対応するかを識別できる状態であることを前提としています。</p> <p>属性名が\$の場合、設問名称が未定義であると解釈されるため、規格属性と設問との対応関係を構築することができません。</p> <p>対応策として、対象の規格属性（IfcPropertySingleValue）を確認し、属性名（Name）に工事工種体系ツリーコードデータに基づく正しい設問名称を設定してください。</p> <p>設定する設問名称は、同一規格属性に設定されている設問番号および回答番号と整合している必要があります。</p>
ED3500-2	<p>IFC ファイルの規格に関する属性に含まれる「設問名称」が、工事工種体系ツリーコードデータに見つかりません。</p> <p>IFC ファイルを作成したソフトウェアの設定と、使用している工事工種体系ツリーコードデータを確認し、一致する「設問名称」が使用される状態で、ファイルを作り直してください。</p>	<p>数量データ用 IfcPropertySet に設定されている規格属性（IfcPropertySingleValue）において、属性名（Name）に設問名称が正しく設定されていません。</p> <p>積算 MVD では、規格の属性名は、工事工種体系ツリーコードデータに定義された設問名称を用いて記述し、当該規格値がどの設問に対応するかを識別できる状態であることを前提としています。</p> <p>設問名称が欠落している場合、または設問名称が設定されていても、工事工種体系ツリーコードデータの表記と一致しない場合、規格属性がどの設問に対応するものかを特定できません。</p> <p>本処理では、設問名称の一致判定において、カタカナの全角・半角の差異も含めて工事工種体系ツリーコードデータと完全一致を求めています。</p> <p>そのため、文字種の違い（例：全角カタカナと半角カタカナ）がある場合も不一致として扱われます。</p> <p>対応策として、対象の規格属性（IfcPropertySingleValue）を確認し、属性名（Name）に設定されている設問名称が、工事工種体系ツリーコードデータに定義された表記と完全に一致していることを確認してください。</p> <p>特に、カタカナの全角・半角が工事工種体系ツリーコードデータの表記と一致しているかを確認してください。</p>
ED3501-1	IFC ファイルの規格に関する属性に、「回答名称」が設定されていません。	数量データ用 IfcPropertySet に設定されている規格属性

	<p>IFC ファイルを作成したソフトウェアの設定を確認し、「回答名称」が出力される状態で、ファイルを作り直してください。</p>	<p>(IfcPropertySingleValue) において、属性値 (NominalValue) が\$として記述されており、回答名称が設定されていません。</p> <p>積算 MVD では、規格属性の属性値には、工事工種体系ツリーコードデータに定義された回答名称を設定し、当該規格値がどの設問に対するどの回答を表しているかを識別できる状態であることを前提としています。</p> <p>属性値が\$の場合、回答名称が未定義であると解釈されるため、規格属性が示す回答内容を特定することができません。</p> <p>対応策として、対象の規格属性 (IfcPropertySingleValue) を確認し、属性値 (NominalValue) に工事工種体系ツリーコードデータに基づく正しい回答名称を設定してください。</p> <p>設定する回答名称は、同一規格属性に設定されている設問名称および回答番号と整合している必要があります。</p>
ED3501-2	<p>IFC ファイルの規格に関する属性に含まれる「回答名称」が、工事工種体系ツリーコードデータに見つかりません。</p> <p>IFC ファイルを作成したソフトウェアの設定と、使用している工事工種体系ツリーコードデータを確認し、一致する「回答名称」が使用される状態で、ファイルを作り直してください。</p>	<p>数量データ用 IfcPropertySet に設定されている規格属性 (IfcPropertySingleValue) の属性値 (NominalValue) に含まれる回答名称が、属性名 (Name) に設定されている設問名称に対応する回答として、工事工種体系ツリーコードデータに存在しません。</p> <p>積算 MVD では、規格属性の属性値は、</p> <p>「{回答名称}」</p> <p>「{回答}_{回答名称}」</p> <p>または「{任意入力}」</p> <p>のいずれかの形式で記述されることを前提としています。</p> <p>ただし、工事工種体系ツリーコードデータに定義された設問に対して回答が存在する場合は、その設問名称に対応する回答名称が、工事工種体系ツリーコードデータに定義されている必要があります。</p> <p>本エラーは、規格属性の属性名 (Name) に設定された設問名称に対応する回答名称として、工事工種体系ツリーコードデータに定義されていない値が設定されている場合に発生します。</p>

		<p>この状態では、当該規格属性が示す回答内容を体系データと対応付けて解釈することができません。</p> <p>なお、工事工種体系ツリーコードデータから取得した当該設問の1行目の回答が空欄である場合は、当該規格属性は任意入力とみなし、本エラーの対象とはなりません。</p> <p>対応策として、対象の規格属性（IfcPropertySingleValue）を確認し、属性値（NominalValue）に設定されている回答名称が、属性名（Name）に設定された設問名称に対応する回答として、工事工種体系ツリーコードデータに定義されている表記と一致していることを確認してください。</p> <p>体系データに回答が定義されていない設問の場合は、任意入力として扱われているかをあわせて確認してください。</p>
ED3600-1	<p>IFC ファイルの数量データの属性セットに、工事工種体系ツリーコードを識別するための「体系コード」属性が設定されていません。</p> <p>IFC ファイルを作成したソフトウェアの設定を確認し、属性セットに「体系コード」属性が1つだけ含まれる状態で、ファイルを作り直してください。</p>	<p>数量データ用 IfcPropertySet において、体系コードを表す IfcPropertySingleValue が設定されていない、または複数設定されています。</p> <p>積算 MVD では、数量データ用の IfcPropertySet には、連続体系管理番号を示す体系コードの属性を必ず1個、かつ一意に設定することを前提としています。</p> <p>体系コードの属性が0個の場合、当該数量データがどの工事工種体系に属するかを特定できません。</p> <p>一方、2個以上設定されている場合、同一の IfcPropertySet 内で複数の連続体系管理番号が競合し、数量データの帰属先を一意に解釈できません。</p> <p>対応策として、対象の IfcPropertySet を確認し、体系コードを表す IfcPropertySingleValue が1個のみ設定されていることを確認してください。</p> <p>不要な体系コード属性が複数設定されている場合は削除し、設定されていない場合は、工事工種体系ツリーコードデータに基づく正しい連続体系管理番号を持つ体系コード属性を追加してください。</p>

ED3601-1	<p>IFC ファイルの「体系コード」属性に、工事工種体系ツリーコードを識別するための「体系管理番号」が設定されていません。</p> <p>IFC ファイルを作成したソフトウェアの設定を確認し、「体系管理番号」が出力される状態で、ファイルを作り直してください。</p>	<p>数量データ用 IfcPropertySet に設定されている体系コードの IfcPropertySingleValue において、属性説明 (IFC2X3・IFC4 では Description、IFC4.3 では Specification) が \$ として記述されており、体系管理番号が設定されていません。</p> <p>積算 MVD では、体系コードの属性説明には、工事工種体系ツリーコードデータに定義された連続体系管理番号を設定し、当該数量データがどの工事工種体系 (L0～L4) に属するかを識別できる状態であることを前提としています。</p> <p>属性説明が \$ の場合、体系管理番号が未定義であると解釈されるため、数量データの体系上の帰属先を特定することができません。</p> <p>対応策として、体系コードを表す IfcPropertySingleValue を確認し、属性説明 (Description/Specification) に工事工種体系ツリーコードデータに基づく正しい連続体系管理番号を設定してください。</p> <p>連続体系管理番号は、L0 から L4 までの体系管理番号をアンダースコア () で連結した形式である必要があります。</p>
ED3601-2	<p>IFC ファイルの「体系コード」属性に、工事工種体系ツリーコードを識別するための「体系管理番号」が設定されていません。</p> <p>IFC ファイルを作成したソフトウェアの設定を確認し、「体系管理番号」が出力される状態で、ファイルを作り直してください。</p>	<p>数量データ用 IfcPropertySet に設定されている体系コードの IfcPropertySingleValue において、属性説明 (IFC2X3・IFC4 では Description、IFC4.3 では Specification) に設定されている体系管理番号の形式が正しくありません。</p> <p>積算 MVD では、体系コードの属性説明には、工事工種体系ツリーコードデータに定義された連続体系管理番号を設定することを前提としています。</p> <p>連続体系管理番号は、L0 から L4 までの各体系管理番号を上位から順にアンダースコア () で連結した識別子であり、結果としてアンダースコアが 4 個含まれる形式となります。</p> <p>本エラーは、属性説明に含まれるアンダースコアの数が 3 個以下、または 5 個以上</p>

		<p>となっており、L0～L4 の体系管理番号を正しく連結した形式になっていない場合に発生します。 この状態では、数量データがどの工事工種体系に属するかを正しく特定することができません。</p> <p>対応策として、体系コードを表す IfcPropertySingleValue を確認し、属性説明 (Description/Specification) に設定されている体系管理番号が L0_L1_L2_L3_L4 の 5 階層の体系管理番号を正しい順序で連結した形式になっていることを確認してください。 設定する体系管理番号は、工事工種体系ツリーコードデータに定義された値と完全に一致している必要があります。</p>
ED3601-3	<p>IFC ファイルの「体系コード」属性に含まれる「体系管理番号」が、工事工種体系ツリーコードデータに見つかりません。</p> <p>IFC ファイルを作成したソフトウェアの設定と、使用している工事工種体系ツリーコードデータを確認し、一致する「体系管理番号」が使用される状態で、ファイルを作り直してください。</p>	<p>数量データ用 IfcPropertySet に設定されている体系コードの IfcPropertySingleValue において、属性説明 (IFC2X3・IFC4 では Description、IFC4.3 では Specification) に設定されている体系管理番号が、参照している工事工種体系ツリーコードデータに存在しません。</p> <p>積算 MVD では、体系コードの属性説明に設定する体系管理番号は、工事工種体系ツリーコードデータに定義された連続体系管理番号と一致していることを前提としています。 工事工種体系ツリーコードデータに存在しない体系管理番号が設定されている場合、数量データがどの工事工種体系 (L0～L4) に基づくものかを特定できず、体系名称、設問、回答との対応関係を正しく構築することができません。</p> <p>本エラーは、体系管理番号の形式自体は成立しているものの、工事工種体系ツリーコードデータ上に該当する連続体系管理番号が定義されていない場合に発生します。</p> <p>対応策として、体系コードを表す IfcPropertySingleValue を確認し、属性説明 (Description/Specification) に設定されている体系管理番号が、使用している工事工種体系ツリーコードデータに定義された連続体系管理番号</p>

		<p>のいずれかと完全に一致していることを確認してください。</p> <p>存在しない体系管理番号が設定されている場合は、工事工種体系ツリーコードデータに基づく正しい体系管理番号に修正してください。</p>
ED3602-1	<p>IFC ファイルの「体系コード」属性に、工事工種体系を識別するための「体系名称」が設定されていません。</p> <p>IFC ファイルを作成したソフトウェアの設定を確認し、「体系名称」が出力される状態で、ファイルを作り直してください。</p>	<p>数量データ用 IfcPropertySet に設定されている体系コードの IfcPropertySingleValue において、属性値 (NominalValue) が \$ として記述されており、体系名称が設定されていません。</p> <p>積算 MVD では、体系コードの属性値には、工事工種体系ツリーコードデータに定義された連続体系名称を設定し、当該数量データがどの工事工種体系 (L0～L4) に属するかを人が確認できる状態であることを前提としています。</p> <p>属性値が \$ の場合、体系名称が未定義であると解釈され、体系管理番号との対応関係を確認することができません。</p> <p>対応策として、体系コードを表す IfcPropertySingleValue を確認し、属性値 (NominalValue) に工事工種体系ツリーコードデータに基づく正しい連続体系名称を設定してください。</p> <p>連続体系名称は、L0 から L4 までの各体系名称を上位から順にアンダースコア () で連結した表記であり、同一属性セット内の体系管理番号と対応している必要があります。</p>
ED3602-2	<p>IFC ファイルの「体系コード」属性に、工事工種体系を識別するための「体系名称」が設定されていません。</p> <p>IFC ファイルを作成したソフトウェアの設定を確認し、「体系名称」が出力される状態で、ファイルを作り直してください。</p>	<p>数量データ用 IfcPropertySet に設定されている体系コードの IfcPropertySingleValue において、属性値 (NominalValue) に設定されている体系名称の形式が正しくありません。</p> <p>積算 MVD では、体系コードの属性値には、工事工種体系ツリーコードデータに定義された連続体系名称を設定することを前提としています。</p> <p>連続体系名称は、L0 から L4 までの各体系名称を上位から順にアンダースコア () で連結した表記であり、その形式上、アンダースコアが 4 個含まれる文字列となります。</p>

		<p>本エラーは、属性値に含まれるアンダースコアの数が 3 個以下、または 5 個以上 となっており、L0～L4 の体系名称を 正しく連結した形式になっていない場合 に発生します。 この状態では、体系名称と体系管理番号 との対応関係を確認できず、数量データ がどの工事工種体系に属するかを 正しく特定することができません。</p> <p>対応策として、体系コードを表す IfcPropertySingleValue を確認し、属性 値 (NominalValue) に設定されている 体系名称が、 L0 体系名称_L1 体系名称_L2 体系名称 _L3 体系名称_L4 体系名称 の 5 階層の体系名称を正しい順序で連 結した形式になっていることを確認し てください。 設定する体系名称は、工事工種体系ツ リーコードデータに定義された表記と 完全に一致している必要があり、同一 属性セット内の体系管理番号とも対応 している必要があります。</p>
ED3602-3	<p>IFC ファイルの「体系コード」属性に 含まれる「体系名称」が、工事工種体 系ツリーコードデータに見つかりませ ん。</p> <p>IFC ファイルを作成したソフトウェア の設定と、使用している工事工種体系 ツリーコードデータを確認し、一致す る「体系名称」が使用される状態で、 ファイルを作り直してください。</p>	<p>数量データ用 IfcPropertySet に設定さ れている体系コードの IfcPropertySingleValue において、属 性値 (NominalValue) に設定されてい る体系名称が、参照している工事工種 体系ツリーコードデータに存在しませ ん。</p> <p>積算 MVD では、体系コードの属性値 に設定する体系名称は、工事工種体系 ツリーコードデータに定義された連続 体系名称であり、かつ同一 IfcPropertySingleValue の属性説明 (IFC2X3・IFC4 では Description、 IFC4.3 では Specification) に設定され た連続体系管理番号に対応しているこ とを前提としています。 体系管理番号に対応しない体系名称が 設定されている場合、体系管理番号と 体系名称の対応関係が成立せず、数量 データがどの工事工種体系 (L0～ L4) に属するかを正しく解釈するこ とができません。</p> <p>本エラーは、属性説明 (Description/ Specification) に設定された体系管理 番号の形式自体は正しいものの、その 体系管理番号に対応する体系名称が、</p>

		<p>工事工種体系ツリーコードデータ上に定義されていない場合に発生します。</p> <p>対応策として、体系コードを表す IfcPropertySingleValue を確認し、属性値 (NominalValue) に設定されている体系名称が、属性説明 (Description/ Specification) に設定された体系管理番号に対応する連続体系名称として、工事工種体系ツリーコードデータに定義されている表記と完全に一致していることを確認してください。</p> <p>対応しない体系名称が設定されている場合は、工事工種体系ツリーコードデータに基づく正しい体系名称に修正してください。</p>
ED3700-1	<p>IFC ファイルの数量データの属性セットに、「数量」属性が設定されていません。</p> <p>IFC ファイルを作成したソフトウェアの設定を確認し、属性セットに「数量」属性が1つだけ含まれる状態で、ファイルを作り直してください。</p>	<p>数量データ用 IfcPropertySet において、数量を表す IfcPropertySingleValue が設定されていない、または複数設定されています。</p> <p>積算 MVD では、数量データ用の IfcPropertySet には、数量を表す IfcPropertySingleValue を1個のみ設定することを前提としています。</p> <p>数量の属性が0個の場合、当該 IfcElement に対する数量を取得できず、積算対象として扱うことができません。</p> <p>一方、2個以上設定されている場合、同一属性セット内に複数の数量定義が存在することになり、どの値を正とすべきかを一意に解釈できません。</p> <p>対応策として、対象の IfcPropertySet を確認し、数量を表す IfcPropertySingleValue が1個のみ設定されていることを確認してください。</p> <p>複数設定されている場合は不要な数量属性を削除し、設定されていない場合は、形状データの計測結果またはそれを用いた計算結果に基づく数量属性を追加してください。</p>
ED3701-1	<p>IFC ファイルの「数量」属性に、正しい値 (数量) が設定されていません。</p> <p>IFC ファイルを作成したソフトウェアの設定を確認し、「数量」属性に0以外の値が出力される状態で、ファイルを作り直してください。</p>	<p>数量データ用 IfcPropertySet に設定されている数量の IfcPropertySingleValue において、属性値が\$として記述されており、数量値が設定されていません。</p>

		<p>積算 MVD では、数量の属性値には、形状データの計測結果、またはそれを用いた計算により得られた数量値を設定することを前提としています。属性値が\$の場合、数量が未定義であると解釈されるため、当該 IfcElement を積算対象として扱うことができません。</p> <p>対応策として、数量を表す IfcPropertySingleValue を確認し、その属性値に 0 以外の数値を設定してください。</p> <p>設定する数量値は、整数・実数の別を問いませんが、単位や文字列は含めず、実際の計測結果と整合している必要があります。</p>
ED3701-2	<p>IFC ファイルの「数量」属性に、正しい値（数量）が設定されていません。</p> <p>IFC ファイルを作成したソフトウェアの設定を確認し、「数量」属性に 0 以外の値が出力される状態で、ファイルを作り直してください。</p>	<p>数量データ用 IfcPropertySet に設定されている数量の IfcPropertySingleValue において、属性値に数値以外の文字が含まれています。</p> <p>積算 MVD では、数量の属性値には、形状データの計測結果、またはそれを用いた計算により得られた数値のみを設定することを前提としています。数量の属性値に、単位（例：m、m²、m³、kg）、記号、補足説明などの文字列が付加されている場合、その値を数値として解釈することができず、積算処理および IFC-XML 変換を正しく行うことができません。</p> <p>例えば、 10.5m、3.2m²、100kg、25（概算） のような値は、いずれも数値以外の文字を含むため不正と判定されます。</p> <p>対応策として、数量を表す IfcPropertySingleValue を確認し、属性値から単位や補足的な文字列を除去したうえで、0 以外の数値のみを設定してください。</p> <p>単位情報が必要な場合は、数量の属性値には含めず、別途モデル上の定義や運用ルールで管理してください。</p>
ED3701-3	<p>IFC ファイルの「数量」属性に、正しい値（数量）が設定されていません。</p> <p>IFC ファイルを作成したソフトウェアの設定を確認し、「数量」属性に 0 以</p>	<p>数量データ用 IfcPropertySet に設定されている数量の IfcPropertySingleValue において、属性値が 0 に設定されています。</p>

	<p>外の値が出力される状態で、ファイルを作り直してください。</p>	<p>積算 MVD では、数量の属性値には、形状データの計測結果、またはそれを用いた計算により得られた 0 以外の数値を設定することを前提としています。</p> <p>数量が 0 の場合、当該 IfcElement は数量を持たないものとして解釈され、積算対象として扱うことができません。</p> <p>なお、負の数値については、数量の控除や減算を表現する用途を想定しており、仕様上は許容されています。本エラーは、数量が 0 に設定されている場合にのみ該当します。</p> <p>対応策として、数量を表す IfcPropertySingleValue を確認し、形状データの計測結果に基づく 0 以外の数値が設定されていることを確認してください。</p> <p>数量が控除を意味する場合であっても、0 ではなく、意図した符号を持つ数値が設定されている必要があります。</p>
ED3702-1	<p>IFC ファイルの「数量」属性に、工事工種体系ツリーコードを識別するための「体系管理番号」が設定されていません。</p> <p>IFC ファイルを作成したソフトウェアの設定を確認し、「体系管理番号」が出力される状態で、ファイルを作り直してください。</p>	<p>数量データ用 IfcPropertySet に設定されている数量の IfcPropertySingleValue において、属性説明 (IFC2X3・IFC4 では Description、IFC4.3 では Specification) が \$ として記述されており、体系管理番号が設定されていません。</p> <p>積算 MVD では、数量の属性説明には、工事工種体系ツリーコードデータに定義された連続体系管理番号を設定し、当該数量データがどの工事工種体系 (L0～L4) に属するかを識別できる状態であることを前提としています。</p> <p>属性説明が \$ の場合、体系管理番号が未定義であると解釈されるため、数量データの体系上の帰属先を特定することができません。</p> <p>対応策として、数量を表す IfcPropertySingleValue を確認し、属性説明 (Description/Specification) に工事工種体系ツリーコードデータに基づく正しい連続体系管理番号を設定してください。</p> <p>連続体系管理番号は、L0 から L4 までの体系管理番号をアンダースコア</p>

		() で連結した形式である必要があります。
ED3702-2	<p>IFC ファイルの「数量」属性に、工事工種体系ツリーコードを識別するための「体系管理番号」が設定されていません。</p> <p>IFC ファイルを作成したソフトウェアの設定を確認し、「体系管理番号」が出力される状態で、ファイルを作り直してください。</p>	<p>数量データ用 IfcPropertySet に設定されている数量の IfcPropertySingleValue において、属性説明 (IFC2X3・IFC4 では Description、IFC4.3 では Specification) に設定されている体系管理番号の形式が正しくありません。</p> <p>積算 MVD では、数量の属性説明には、工事工種体系ツリーコードデータに定義された連続体系管理番号を設定することを前提としています。 連続体系管理番号は、L0 から L4 までの各体系管理番号を上位から順にアンダースコア () で連結した識別子であり、結果としてアンダースコアが 4 個含まれる形式となります。</p> <p>本エラーは、属性説明に含まれるアンダースコアの数が 3 個以下、または 5 個以上 となっており、L0～L4 の体系管理番号を正しく連結した形式になっていない場合に発生します。 この状態では、数量データがどの工事工種体系に属するかを正しく特定することができません。</p> <p>対応策として、数量を表す IfcPropertySingleValue を確認し、属性説明 (Description/Specification) に設定されている体系管理番号が L0_L1_L2_L3_L4 の 5 階層の体系管理番号を正しい順序で連結した形式になっていることを確認してください。 設定する体系管理番号は、工事工種体系ツリーコードデータに定義された値と完全に一致している必要があります。</p>
ED3702-3	<p>IFC ファイルの「数量」属性に含まれる「体系管理番号」が、「体系コード」属性に含まれる「体系管理番号」と一致していません。</p> <p>IFC ファイルを作成したソフトウェアの設定と、使用している工事工種体系ツリーコードデータを確認し、「数量」属性に含まれる「体系管理番号」と「体系コード」属性に含まれる「体</p>	<p>数量データ用 IfcPropertySet に設定されている数量の IfcPropertySingleValue において、属性説明 (IFC2X3・IFC4 では Description、IFC4.3 では Specification) に設定されている体系管理番号が、工事工種体系ツリーコードデータに存在しません。</p> <p>積算 MVD では、数量の属性説明に設定する体系管理番号は、工事工種体系</p>

	<p>系管理番号」が一致する状態で、ファイルを作り直してください。</p>	<p>ツリーコードデータに定義された連続体系管理番号であり、かつ同一属性セット内に存在する、Name 属性が「体系コード」である</p> <p>IfcPropertySingleValue の属性説明 (Description/Specification) に設定された体系管理番号と一致していることを前提としています。</p> <p>数量属性の属性説明に設定された体系管理番号が、体系コード属性に設定された体系管理番号と一致しない場合、数量データがどの工事工種体系 (L0～L4) に属するものを一意に特定することができません。</p> <p>本エラーは、数量属性の属性説明に設定された体系管理番号の形式自体は成立しているものの、同一属性セット内の体系コード属性 (Name が「体系コード」の IfcPropertySingleValue) に設定された体系管理番号と一致しない、または工事工種体系ツリーコードデータ上に該当する体系管理番号が存在しない場合に発生します。</p> <p>対応策として、数量を表す IfcPropertySingleValue を確認し、属性説明 (Description/Specification) に設定されている体系管理番号が、Name 属性が「体系コード」である IfcPropertySingleValue の属性説明に設定された体系管理番号と一致していること、かつ工事工種体系ツリーコードデータに定義された連続体系管理番号であることを確認してください。</p> <p>不整合がある場合は、体系コード属性に設定された体系管理番号に合わせて修正してください。</p>
ED3800-1	<p>IFC ファイルの数量データの属性セットに、想定外の属性が含まれています。</p> <p>IFC ファイルを作成したソフトウェアの設定を確認し、各属性セットに「体系コード」「数量」「規格」のみが含まれる状態で、ファイルを作り直してください。</p>	<p>数量データ用 IfcPropertySet において、体系コード、数量、規格以外の IfcProperty が設定されています。</p> <p>積算 MVD では、数量データ用 IfcPropertySet に設定できる属性は、体系コードを表す属性、数量を表す属性、および規格を表す属性に限定されており、これ以外の属性が含まれていないことを前提としています。</p> <p>許容されていない属性が混在している場合、どの属性が積算対象の数量データであるかを一意に解釈できず、IFC-</p>

		<p>XML 変換および積算処理を正しく行うことができません。</p> <p>本エラーは、数量データ用 IfcPropertySet 内に、積算 MVD で定義されていない用途の IfcProperty（例：任意属性、補足情報、他用途の属性）が含まれている場合に発生します。</p> <p>対応策として、対象の IfcPropertySet を確認し、体系コード、数量、規格を表す IfcPropertySingleValue 以外の属性が設定されていないことを確認してください。</p> <p>不要な属性が含まれている場合は削除し、数量データ用 IfcPropertySet が積算 MVD で定義された属性のみで構成されるよう整理してください。</p>
ED3801-1	<p>IFC ファイルの規格に関する属性に、「回答番号」が設定されていません。</p> <p>IFC ファイルを作成したソフトウェアの設定を確認し、「回答番号」が出力される状態で、ファイルを作り直してください。</p>	<p>数量データ用 IfcPropertySet に設定されている規格属性（IfcPropertySingleValue）において、属性説明（IFC2X3・IFC4 では Description、IFC4.3 では Specification）が\$として記述されており、回答番号が設定されていません。</p> <p>積算 MVD では、規格属性の属性説明には、工事工種体系ツリーコードデータに定義された回答番号を設定し、当該規格値がどの回答に対応するかを識別できる状態であることを前提としています。</p> <p>属性説明が\$の場合、回答番号が未定義であると解釈されるため、規格属性を工事工種体系ツリーコードデータ上の回答に対応付けて解釈することができません。</p> <p>対応策として、対象の規格属性（IfcPropertySingleValue）を確認し、属性説明（Description／Specification）に工事工種体系ツリーコードデータに基づく正しい回答番号を設定してください。</p> <p>設定する回答番号は、同一規格属性に設定されている設問名称および属性値（NominalValue）に含まれる回答名称と整合している必要があります。</p>
ED3801-2	IFC ファイルの規格に関する属性に含まれる「回答番号」が、工事工種体系	<p>数量データ用 IfcPropertySet に設定されている規格属性（IfcPropertySingleValue）において、</p>

	<p>ツリーコードデータに見つかりません。</p> <p>IFC ファイルを作成したソフトウェアの設定と、使用している工事工種体系ツリーコードデータを確認し、一致する「回答番号」が使用される状態で、ファイルを作り直してください。</p>	<p>属性説明（IFC2X3・IFC4 では Description、IFC4.3 では Specification）に設定されている回答番号が、参照している工事工種体系ツリーコードデータに存在しません。</p> <p>積算 MVD では、規格属性の属性説明に設定する回答番号は、同一属性セット内の「体系コード」属性に設定された連続体系管理番号に紐づく回答番号として、工事工種体系ツリーコードデータに定義されていることを前提としています。</p> <p>連続体系管理番号に対応しない回答番号が設定されている場合、当該規格属性がどの設問に対するどの回答を表しているのかを正しく特定することができません。</p> <p>本エラーは、回答番号の形式自体は成立しているものの、 「体系コード」の連続体系管理番号に対応する回答番号として、工事工種体系ツリーコードデータ上に定義されていない場合に発生します。</p> <p>対応策として、対象の規格属性（IfcPropertySingleValue）を確認し、属性説明（Description／Specification）に設定されている回答番号が、同一属性セット内の「体系コード」属性に設定された連続体系管理番号に紐づく回答番号として、工事工種体系ツリーコードデータに定義されていることを確認してください。</p> <p>存在しない、または対応しない回答番号が設定されている場合は、工事工種体系ツリーコードデータに基づく正しい回答番号に修正してください。</p>
ED3802-1	<p>IFC ファイルの規格に関する属性に、「規格_設問_設問名称」が設定されていません。</p> <p>IFC ファイルを作成したソフトウェアの設定を確認し、「規格_設問_設問名称」が出力される状態で、ファイルを作り直してください。</p>	<p>数量データ用 IfcPropertySet に設定されている規格属性（IfcPropertySingleValue）において、属性名（Name）に設定されている「規格_設問_設問名称」の形式が正しくありません。</p> <p>積算 MVD では、規格属性の属性名は、規格_設問_設問名称の形式で記述されることを前提としています。</p> <p>この形式は、「規格」「設問」「設問名称」の 3 要素をアンダースコア（_）</p>

		<p>で連結したものであり、結果としてアンダースコアが2個含まれる文字列となります。</p> <p>本エラーは、属性名に含まれるアンダースコアの数が 1個以下、または3個以上 となっており、「規格」「設問」「設問名称」を正しく区切った形式になっていない場合に発生します。 この状態では、当該規格属性がどの設問に対する規格情報であるかを正しく特定することができません。</p> <p>対応策として、対象の規格属性 (IfcPropertySingleValue)を確認し、 属性名(Name)が 規格_設問_設問名称 の形式となっており、アンダースコアが2個含まれていることを確認してください。 また、設問および設問名称は、工事工種体系ツリーコードデータに定義された表記と完全に一致している必要があります。</p>
ED3802-2	<p>IFC ファイルの規格に関する属性に含まれる「設問」、「設問名称」が、工事工種体系ツリーコードデータに見つかりません。</p> <p>IFC ファイルを作成したソフトウェアの設定と、使用している工事工種体系ツリーコードデータを確認し、一致する「設問」、「設問名称」が使用される状態で、ファイルを作り直してください。</p>	<p>数量データ用 IfcPropertySet に設定されている規格属性 (IfcPropertySingleValue)において、属性名(Name)に含まれる「設問」および「設問名称」が、参照している工事工種体系ツリーコードデータに存在しません。</p> <p>積算 MVD では、規格属性の属性名に含まれる「設問」および「設問名称」は、 同一規格属性の属性説明(IFC2X3・IFC4ではDescription、IFC4.3ではSpecification)から取得される設問および設問名称と一致し、かつ工事工種体系ツリーコードデータに定義された内容と対応付けられることを前提としています。</p> <p>属性名に設定された設問または設問名称が、属性説明に設定された内容、あるいは工事工種体系ツリーコードデータと一致しない場合、当該規格属性がどの設問に対するものかを正しく特定することができません。</p> <p>本エラーは、規格属性の属性名に含まれる設問または設問名称が、</p>

		<p>属性説明 (Description／Specification) から取得した設問・設問名称と一致しない、または工事工種体系ツリーコードデータ上に定義されていない場合に発生します。</p> <p>なお、設問名称については、全角・半角の違いは判定対象とせず、文字内容のみで一致判定を行います。</p> <p>対応策として、対象の規格属性 (IfcPropertySingleValue) を確認し、属性名 (Name) に設定されている設問および設問名称が、属性説明 (Description／Specification) に設定された設問・設問名称と一致していること、かつ工事工種体系ツリーコードデータに定義された設問・設問名称と対応していることを確認してください。不一致がある場合は、工事工種体系ツリーコードデータに基づく正しい表記に修正してください。</p>
ED3803-1	<p>IFC ファイルの規格に関する属性に、「回答_回答名称」が設定されていません。</p> <p>IFC ファイルを作成したソフトウェアの設定を確認し、「回答_回答名称」が出力される状態で、ファイルを作り直してください。</p>	<p>数量データ用 IfcPropertySet に設定されている規格属性 (IfcPropertySingleValue) において、属性値 (NominalValue) が\$として記述されており、「回答」および「回答名称」が設定されていません。</p> <p>積算 MVD では、規格属性の属性値には、工事工種体系ツリーコードデータに定義された回答_回答名称の形式、または当該設問において回答が定義されていない場合に限り任意入力を設定することを前提としています。属性値が\$の場合、回答および回答名称が未定義であると解釈されるため、当該規格属性が示す回答内容を特定することができません。</p> <p>本エラーは、規格属性の属性値が\$として出力されており、回答および回答名称がいずれも設定されていない場合に発生します。</p> <p>対応策として、対象の規格属性 (IfcPropertySingleValue) を確認し、属性値 (NominalValue) に工事工種体系ツリーコードデータに基づく回答_回答名称</p>

		<p>を設定してください。</p> <p>当該設問に対して工事工種体系ツリーコードデータ上の回答が存在しない場合は、任意入力として適切な値が設定されていることを確認してください。</p>
ED3803-2	<p>IFC ファイルの規格に関する属性の、正しい「回答」が設定されていません。</p> <p>IFC ファイルを作成したソフトウェアの設定を確認し、「回答」が整数で出力される状態で、ファイルを作り直してください。</p>	<p>数量データ用 IfcPropertySet に設定されている規格属性 (IfcPropertySingleValue) において、属性値 (NominalValue) に含まれる「回答」が整数ではありません。</p> <p>積算 MVD では、規格属性の属性値は回答_回答名称 の形式で記述されることを前提としており、このうち「回答」は、工事工種体系ツリーコードデータに定義された整数値の回答番号を設定する必要があります。</p> <p>「回答」部分に整数以外の文字列、小数、記号などが含まれている場合、当該規格属性を工事工種体系ツリーコードデータ上の回答番号と対応付けて解釈することができません。</p> <p>本エラーは、属性値の形式自体は成立しているものの、「回答」部分が整数として解釈できない場合に発生します。</p> <p>対応策として、対象の規格属性 (IfcPropertySingleValue) を確認し、属性値 (NominalValue) に設定されている 回答_回答名称 のうち、「回答」部分が工事工種体系ツリーコードデータに定義された整数の回答番号であることを確認してください。</p> <p>整数以外の値が設定されている場合は、正しい回答番号に修正してください。</p>
ED3803-3	<p>IFC ファイルの規格に関する属性に含まれる「回答」、「回答名称」が、工事工種体系ツリーコードデータに見つかりません。</p> <p>IFC ファイルを作成したソフトウェアの設定と、使用している工事工種体系ツリーコードデータを確認し、一致する「回答」、「回答名称」が使用される状態で、ファイルを作り直してください。</p>	<p>数量データ用 IfcPropertySet に設定されている規格属性 (IfcPropertySingleValue) において、属性値 (NominalValue) に含まれる「回答」および「回答名称」が、参照している工事工種体系ツリーコードデータに存在しません。</p> <p>積算 MVD では、規格属性の属性値は回答_回答名称 の形式で記述され、かつ同一規格属性の属性説明 (IFC2X3・IFC4 では</p>

		<p>Description、IFC4.3ではSpecification)から取得される回答および回答名称と一致し、工事工種体系ツリーコードデータに定義された内容と対応付けられることを前提としています。</p> <p>属性値に設定された回答または回答名称が、属性説明に設定された内容、あるいは工事工種体系ツリーコードデータと一致しない場合、当該規格属性がどの回答を表しているのかを正しく特定することができません。</p> <p>本エラーは、規格属性の属性値に含まれる「回答」または「回答名称」が、属性説明 (Description/ Specification) から取得した回答・回答名称と一致しない、または工事工種体系ツリーコードデータ上に定義されていない場合に発生します。</p> <p>なお、回答名称については、全角・半角の違いは判定対象とせず、文字内容のみで一致判定を行います。</p> <p>対応策として、対象の規格属性 (IfcPropertySingleValue)を確認し、属性値 (NominalValue)に設定されている回答_回答名称が、属性説明 (Description/ Specification)に設定された回答・回答名称と一致していること、かつ工事工種体系ツリーコードデータに定義された回答・回答名称と対応していることを確認してください。不一致がある場合は、工事工種体系ツリーコードデータに基づく正しい表記に修正してください。</p>
--	--	--

9.3 附属資料 C：変更履歴

VX.1.1 (2026 年 2 月 5 日)

(1) 新たなエラーチェックを追加

- IfcElement 系以外の IfcObject に対して、積算対象のプロパティセットが設定されていないかを確認するチェックを追加
- Representation が None の IfcElement 系オブジェクトに対して、積算対象のプロパティセットが設定されていないかを確認するチェックを追加

(2) エラーメッセージの表記を一部変更

- データ確認用エクセルの表記を「データ確認用エクセル (result.xlsx)」に変更
- エラーログ (.txt) に出力するメッセージを変更

(3) 取扱説明書のエラー一覧に詳細情報を追加。